



YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学



山口大学 公開講座開放授業

2026 年度前期受講生募集のご案内



目 次

公開講座受講のご案内	1
公開講座詳細	2
開放授業受講のご案内	9
開放授業詳細	11
アクセスマップ	16
公開講座・開放授業後期受講申込書	

お申込みにより取得した個人情報は、個人情報保護の観点から
厳重に管理し、次の目的以外には使用しません。

- ①当該講座又は当該授業への登録及び受講に関する連絡・運営
- ②今後の公開講座等の案内
- ③統計情報の作成

公開講座受講のご案内

1. 公開講座とは

「公開講座」は、地域住民の皆様の知的好奇心に応え、地域社会の知的啓発に役立てることを目的に、山口大学の教員が講師となり、市民の皆様を対象に開講する講座です。

2. 申込方法等

① 受講の申込み

受付開始日 2026（令和8）年2月24日（火）9時00分

締切日 各講座の「申込締切日」欄をご確認ください。

- 電話・FAX・Web・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。
※メールでは受け付けていません。

山口大学公開講座 



Web申込みは地域未来創生センターHPから▶

- お申込みの際は、①氏名（ふりがな）、②年代、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥連絡用メールアドレス、⑦受講希望講座名をお知らせください。
高校生以下の方は学年、山口大学学生の方は在学中である旨お知らせください。
- 各講座の空き状況は、センターのホームページで確認できます。
- 申込みは先着順で、申込人数が定員に達した場合は、「キャンセル待ち」として受け付けます。ただし、受講条件によっては、受付順が先着順ではない講座もあります。
- 郵送で送付された場合は、消印有効とします。

② 受講料の振込み

- 申込受付後、「受講料振込案内」を郵送しますので、振込期限までに指定口座へお振り込みください。
小学生・中学生・高校生・山口大学在学学生は、受講料が無料です。
入金確認完了の連絡はしていません。
振込期限までにご入金を確認できない場合は、受講することができません。

③ 受講案内・受講

- 講座開始の1週間前までに、連絡事項等を記載した「受講案内」を郵送します。
- 講座当日は、「受講案内」に記載した会場へ直接お越しください。

3. 留意事項

- 受講を辞退される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。
受講料お振込み後に自己都合により受講を辞退される場合、受講料の返還はできません。
受講権利の譲渡、代理出席等お申込者ご本人以外の受講はお断りしています。
- 小学生が受講する場合は、保護者1名の申込み（受講料要）が必要です。
託児所はありませんので、乳幼児を連れてのご参加はご遠慮ください。
- 講座開講1ヶ月前時点で、最少開講人数5名に満たない場合は、講座の開講を中止し、受講料を返還します。
- 小串キャンパスは、駐車場をご用意できません。
ルルサス文化センターは、指定駐車場（1時間無料）の2時間分駐車券を配付予定です。
- 気象状況、感染症の拡大、講師の体調不良等により、やむを得ず日程を変更する場合があります。
変更した日程での受講が難しく、当該日の受講を辞退・欠席される場合は、当該日分の受講料を返還します。
- 領収書が必要な場合は、申込時にお申し出ください。

講師 藤間 充（大学院創成科学研究科（農学）准教授）・高田 暁（総合技術部技術専門職員）・竹田 重寿（総合技術部技術専門職員）・石掛 桂士（総合技術部技術専門職員）

【講座の内容】

グリーンライフという言葉から、皆さんはどのようなことを連想されますか。この講座は、これから野菜作りにチャレンジしたい方や、農作物の栽培に興味や関心のある方のための、知識や技術を基礎から学び理解するための実践的講座です。緑が身の回りにはとて幸せなことです。是非、この機会に講義とフィールド実習を通して、山口大学附属農場で実り多い野菜栽培を学びませんか。前期は教材として、主にトマトやスイカなどを取り扱う予定です。

※ この講座の受講歴がある方は、お電話でお問合せください。より多くの方に受講していただくため、昨年度（2025年度）の「今日から始めるグリーンライフ（前編）」を受講された方によるお申込みは、ご遠慮ください。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・野菜栽培経験の少ない初心者の方（未受講者優先）

【受講料】 6,550円（傷害保険料を含む。）

【開講日時】

4月17日（金）	10:00～12:00	実習「作物栽培の基礎技術（トマト・スイカの圃場作りと定植）」
5月15日（金）	10:00～12:00	講義「作物栽培に必要な土壌の基礎知識」
5月29日（金）	10:00～12:00	実習「簡易土壌診断とその対策、夏野菜の管理」
7月10日（金）	10:00～12:00	実習「たい肥作り、夏野菜の管理・収穫」

【申込締切日】 3月27日（金）

【後援】 山口市教育委員会

講師 早坂 大輔（共同獣医学部教授）

【講座の内容】

インフルエンザや風邪、食中毒などの身近にある感染症やエイズや肝炎、がんの原因となる感染症、マダニや蚊が媒介する感染症から、ペットや家畜で問題となる感染症など、様々な感染症について、歴史的な背景から、原因となる病原体、予防法や治療法について、わかりやすく紹介、解説します。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 15名・どなたでも

【受講料】 6,000円

【開講日時】

4月20日（月）	13:00～14:30	病原体とは：病原体となるウイルス、細菌、寄生虫、プリオンについての基本を学ぶ
5月18日（月）	13:00～14:30	身近にみられる感染症：インフルエンザやみずぼうそう、風邪、がん、食中毒などの原因となる感染症について学ぶ
6月22日（月）	13:00～14:30	人獣共通感染症：マダニや蚊の吸血により感染するSFTSや日本脳炎、ペットや野生動物などから感染する感染症について学ぶ
7月27日（月）	13:00～14:30	動物の感染症：トリインフルエンザや豚熱など、家畜やペットなどの動物で問題となる感染症について学ぶ
8月31日（月）	13:00～14:30	世界でみられるいろいろな感染症：狂犬病やデング熱、マラリアなど、日本では見られないが世界で問題となる感染症について学ぶ

【申込締切日】 3月30日（月）

【後援】 山口市教育委員会

講師 角川 博哉 (共同獣医学部教授)

【講座の内容】

自然界は、植物・動物・菌類という3つの生物群の有機的な相互関係によって構成されており、地球規模で壮大な物質循環を行う「地球生態系」というシステムを発達させてきました。

この講座では、ヒトを含む様々な動物を取り上げ、それぞれが持つ独自の栄養吸収法や、それに伴う生理機能などについて学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 10名・高校卒業程度 (理科系) で、動物の飼育に興味のある方

【受講料】 4,800円

【開講日時】

4月30日 (木)	9:00 ~ 12:00	栄養素、消化、吸収の基本
	13:00 ~ 16:00	ヒトと草食動物と肉食動物の相違点と共通点

【申込締切日】 4月9日 (木)

【後援】 山口市教育委員会

講師 山下 大喜 (教育学部講師)・山岡 浩二 (学外講師)

【講座の内容】

この講座では、江戸時代の津和野藩を治めた亀井氏のもとで書かれたとされる「百景図」をもとに、その風景図から津和野の歴史と文化を読み解いていきます。風景図だけではなく、文字史料も合わせて読み進めることで、当時の歴史と文化を立体的にとらえられるようにします。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 30名・どなたでも (郷土史や美術史に関心がある方)

【受講料】 3,200円

【開講日時】

5月 9 ²³ 日 (土)	14:00 ~ 16:00	津和野百景図と津和野文化
5 ⁶ 月 23 ¹⁴ 日 (日)	14:00 ~ 16:00	津和野百景図、深読みの楽しみ

【申込締切日】 ~~4~~⁵月~~20~~⁷日 (木)

2026. 2. 17変更

【後援】 山口市教育委員会

05

ラテン語初級文法講座 IV

対面型

講師 南雲 泰輔（人文学部准教授）

【講座の内容】

ラテン語は、古代ローマ人によって使用された言語です。この講座では、ラテン語の格言 Festina lente（ゆっくり急げ）に従い、田中利光『ラテン語初歩 改訂版』（岩波書店、2002年）をテキストとして、ローマ帝国の歴史や文化にも言及しつつ、初級文法を基本からゆっくりと学んでいきます。今年度のラテン語初級文法講座 IV では、テキストの第 XXXVI 課から第 XLIII 課までの 8 課分を扱います。テキストは、講座初回までに各自で入手の上、毎回持参してください。この講座から初めて受講される方は、テキスト第 XXXV 課までを独習済みであることが必要です。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・ラテン語初級文法講座Ⅰ～Ⅲを受講済みの方、またはテキスト第 XXXV 課までを独習済みの方

【受講料】 6,400円

【開講日時】

6月 10日（水）	11:00～12:00	これまでの復習、テキスト第 XXXVI 課
6月 17日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XXXVII 課
6月 24日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XXXVIII 課
7月 1日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XXXIX 課
7月 8日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XL 課
7月 15日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XLI 課
7月 29日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XLII 課
8月 5日（水）	11:00～12:00	テキスト第 XLIII 課

【申込締切日】 5月20日（水）

【後援】 山口市教育委員会

06

国際理解教育講座

対面型

講師 森 朋也（教育学部准教授）・SENNECK ANDREW JOHN（教育学部准教授）

【講座の内容】

この講座は、主に開発や環境を専門とする講師（森）と異文化理解や異文化コミュニケーションを専門とする講師（セネック）によって、国際理解教育の考え方を理解し、その実践を通して地球市民や多文化共生社会の一員としての視野と態度を養うことを目的としています。基本的には、個人演習、ペアワーク、グループワークといった活動が中心の講座となっています。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・どなたでも

【受講料】 3,200円

【開講日時】

6月 6日（土）	13:00～14:00	国際理解教育とは何か
	14:10～15:10	異文化コミュニケーション
6月 27日（土）	13:00～14:00	開発と環境
	14:10～15:10	振り返り

【申込締切日】 5月18日（月）

【後援】 山口市教育委員会

07

思考をかたちにする：
レゴ®ブロックで創る立体表現ワークショップ

対面型

講師 熊谷 武洋（教育学部/ひと・まち未来共創学環教授）

【講座の内容】

この講座は、レゴブロックを使って自分の経験や考えを基にしたイメージを形にするワークショップです。様々な色や形状の基本ブロックをベースプレートに組付けて完成後、各自プレゼンテーションを行います。手を動かすことで思考が整理される認知的特性や、体験を振り返って意味づける学習理論を取り入れ、創造的な内省を促し新たな気づきを得ることを目的としています。

※ レゴブロックは実施者が準備しますので受講者が用意する必要はありません。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 12名・中学生以上

【受講料】 4,800円

【開講日時】

6月13日（土）	10:30～17:30 （昼休憩有）	前半：オリエンテーション、実作業、指導助言 後半：指導助言、実作業、プレゼンテーション、相互評価、総括
----------	-----------------------	--

【申込締切日】 5月25日（月）

【後援】 山口市教育委員会

08

イグ・DX講座

対面型

講師 杉井 学（国際総合科学部教授）

【講座の内容】

世の中を便利にするデジタル化やDX（デジタルトランスフォーメーション）は重要ですが、自分の興味や面白さをひたすら追い求めるデジタル技術があってもいいじゃない？そこで、Micro:bitとセンサデバイスを組み合わせて、面白さ・楽しさ第一で、役に立たなかったり意味がなかったりするデジタル機器を作ります。

※ ノートPCの持参が必須です。（スマートフォンでの開発も可能ですが、画面が小さい場合は操作が難しいです。）

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員・条件】 20名・小学生（4年生以上）を含む一般

【受講料】 4,800円

【開講日時】

7月24日（金）	14:00～15:00	「デジタル化」ってどうすることかについて解説
	15:00～16:00	Micro:bitとMakeCodeの使い方の説明とプログラミング練習
7月31日（金）	14:00～15:00	Micro:bitとセンサーを組み合わせて、プログラミング練習
	15:00～16:00	アート思考やデザイン思考を説明し、興味を持っていることや、楽しいと感じることに注目して、デジタル化を考える
8月21日（金）	14:00～15:00	製作したイグ・DX機器の修正とやり方がわからなかったところを作り込む
	15:00～16:00	設計したイグ・DX機器を完成させ、参加者間で共有する

【申込締切日】 7月3日（金）

【後援】 山口市教育委員会

講師 小林 宏至 (大学院東アジア研究科准教授)

【講座の内容】

中国福建省には土楼という巨大な民間建築があります。土楼は2008年に「福建土楼」として世界文化遺産に登録されましたが、その多くは客家と呼ばれる人々によって築かれました。この講座では、客家土楼について写真や映像を用いて解説し、実は日本とも浅からぬ関係で結ばれていることを紹介します。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 40名・どなたでも

【受講料】 1,200円

【開講日時】

8月22日(土)	10:30 ~ 12:00	講義
----------	---------------	----

【申込締切日】 8月3日(月)

【後援】 山口市教育委員会

講師 齊田 菜穂子 (大学院医学系研究科教授)・上田 真寿美 (国際総合科学部教授)・大神 綾夏 (大学院医学系研究科助教)・前田 梨恵 (医学部附属病院看護師)・竹根 紀美恵 (大学院医学系研究科助手)

【講座の内容】

がんは2人に1人が罹患する時代であり、がんとともに生活する方が増えています。また、一部のがんは生活習慣が影響するといわれています。最近、特に注目されているのが運動です。がん予防にも、がん再発予防にも効果があるといわれています。そこで、講座の前半はがんの現状とがん予防、リラクゼーション、マッサージ、後半は予防のために行いたい運動について学びます。

【開講場所】 小串キャンパス (宇部市)

【定員・条件】 25名・どなたでも

【受講料】 3,250円 (傷害保険料を含む。)

【開講日時】

8月24日(月)	10:00 ~ 11:00	講義「がんの現状、患者の心理、ストレスとは」
	11:00 ~ 11:30	実習「リラクゼーション実習」
	11:30 ~ 12:00	実習「マッサージ」
8月25日(火)	10:00 ~ 11:00	講義「がん予防のために行いたい運動」
	11:00 ~ 12:00	実習「がん予防のために行いたい運動の実施」

【申込締切日】 8月3日(月)

【後援】 宇部市

11 香りを科学する

対面型

講師 赤壁 善彦 (大学院創成科学研究科 (農学) 教授)

【講座の内容】

この講座では、香りに関する基礎から応用まで最近のトピックスを含めて紹介し、香りの体験学習や暮らしの中での利用法なども含めながら分かり易く解説します。香りの不思議について楽しく学び、香りの自分流活用法を発見してみませんか。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 20名・どなたでも

【受講料】 3,200円

【開講日時】

9月 8日 (火)	13:00 ~ 15:00	暮らしと香り① (体験学習)
9月 15日 (火)	13:00 ~ 15:00	暮らしと香り② (体験学習)

【申込締切日】 8月18日 (火)

【後援】 山口市教育委員会

12 レクチャーコンサート ディアベリ版『美しき水車小屋の娘』について

対面型

講師 白岩 洵 (教育学部講師)・脇淵 陽子 (学外講師)

【講座の内容】

この講座は、作曲家や作品の理解を深めるとともに、講師による実演を通して、多角的な鑑賞体験を提供することを目的としています。

シューベルト作曲『美しき水車小屋の娘 Die schoene Muellerein』1830年ディアベリ版を題材とします。本作はシューベルトの友人でもあった声楽家フォーゲルによる編曲がなされ、原典版とは逸脱する内容に後年批判的に論じられています。この作品を通じて、リートにおける即興性や作品に対する創造性という観点で考察と比較演奏を行います。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員・条件】 40名・どなたでも

【受講料】 1,600円

【開講日時】

9月 12日 (土)	14:00 ~ 16:00	シューベルト作曲『美しき水車小屋の娘 Die schoene Muellerein』 ディアベリ版を題材としたレクチャーコンサート
------------	---------------	--

【申込締切日】 8月24日 (月)

【後援】 山口市教育委員会

講師 湯浅 修一(教育・学生支援機構/ひと・まち未来共創学環准教授(特命))

【講座の内容】

DXは、パソコンやスマホなどのデジタル技術と大量のデータを使って、社会や生活に大きな変化をもたらし、新たな価値を生み出す取り組みです。この講座は、DXの概念、重要性を理解した上で、DXの取り組み事例を知り、主に企業が戦略の一環でデジタル技術やデータを活用して、どのような価値の創出につながっているのかといった基礎知識を学ぶ内容です。自組織でのDXを推進する立場の方のご参加を歓迎いたします。なお、この講座は、文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の教育プログラムの一環として実施します。

【開講場所】 吉田キャンパス(山口市)

【定員・条件】 20名・社会人(会社員、公務員、自営業等)で実務経験が3年以上の方

【受講料】 8,000円

【開講日時】

7月 9日(木)	18:30～20:30	DXとは何か(DXの定義、DXの取り組み事例、AIの活用と課題)
7月 23日(木)	18:30～20:30	データドリブン(データ化の目的、PPDACサイクル、データ活用事例)
8月 6日(木)	18:30～20:30	経営戦略とDX(企業事例、DXは戦略に従う、DXのステップ)
8月 27日(木)	18:30～20:30	イノベーションとDX(イノベーションの定義、企業事例)
9月 10日(木)	18:30～20:30	これからのDX(地域発DX、これからのDX)

【申込締切日】 6月18日(木)

【後援】 山口市教育委員会

講師 稲垣 健太郎(人文学部講師)

【講座の内容】

近世におけるヨーロッパ諸国とオスマン朝の関係は、しばしばその対立の側面が強調されてきました。この講座では、とりわけ17世紀に注目し、ヨーロッパ諸国とオスマン朝との間で人やモノ、知識がどのように行き来したのかを紹介します。それにより、必ずしも衝突のみに還元されない両者の関係性について考えることを目指します。

【開講場所】 笑顔満開通り ルルサス文化センター交流室1
(山口県防府市栄町1丁目5-1)

【定員・条件】 30名・どなたでも

【受講料】 4,400円

【開講日時】

9月 5日(土)	13:00～14:20	導入と問題提起
	14:30～15:50	人の移動
9月 12日(土)	13:00～14:20	モノの移動
	14:30～15:50	知識の移動

【申込締切日】 8月18日(火)

【共催】 防府市教育委員会

開放授業受講のご案内

1. 開放授業とは

「開放授業」は、山口大学が開設する学生向けの正規の授業科目を地域住民の皆様に開放している事業です。学生たちとともに同じ教室で山口大学の授業に触れることができます。

2. 申込方法等

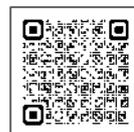
① 受講の申込み

受付開始日 2026（令和8）年2月24日（火）9時00分

締切日 2026（令和8）年3月13日（金）17時00分

- 電話・FAX・Web・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。
※メールでは受け付けていません。

山口大学開放授業



Web申込みは地域未来創生センターHPから▶

- お申込みの際は、①氏名（ふりがな）、②年代、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥連絡用メールアドレス、⑦受講希望授業科目名をお知らせください。

② 受講の決定

- 受講が決定した方には、2026（令和8）年3月下旬までに受講決定通知を郵送します。
- 申込人数が定員を超えた場合は抽選を行い、抽選結果は郵送でお知らせします。
受講生の決定は先着順ではありません。
抽選結果に関する個別のお問合せにはお答えできません。

③ 受講料の振込み

- 受講決定通知に記載している振込期限までに指定口座へお振り込みください。
入金確認完了の連絡はしていません。
振込期限までにご入金を確認できない場合は、受講できません。
開講日時欄が「未定」となっている授業は、受講決定通知郵送時に開講曜日・時限をお知らせします。
確定した日程での受講が難しく、受講を辞退される場合は、お振込み前にセンターまでご連絡ください。

④ 受講案内・受講

- 授業開始の1週間前を目途に、連絡事項やシラバス等を記載した「受講案内」を郵送します。
- 授業当日は、「受講案内」に記載した教室に直接お越しください。

3. 開設期間

前期	2026（令和8）年4月9日（木）	～	2026（令和8）年8月6日（木）
前期前半	2026（令和8）年4月9日（木）	～	2026（令和8）年6月9日（火）
前期後半	2026（令和8）年6月10日（水）	～	2026（令和8）年8月6日（木）

※ 共同獣医学部2～6年生を対象とした授業については、授業終了日が8月5日（水）

4. 難 易 度

開放授業選択の際の目安として、授業ごとに難易度を4段階で示しています。

- | | |
|---|---|
| A | 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とする授業（大学1年生程度） |
| B | やや高度な内容であり、当該専門分野において系統立てた学習がなされていることを前提とする授業（大学2、3年生程度） |
| C | 高度な内容であり、当該専門分野において系統立てた学習がなされていることを前提とする授業（大学3、4年生程度） |
| D | 学部卒業程度の内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされており、更に独自の研究テーマがはっきりしていることを前提とする授業（大学院生程度） |

5. 留 意 事 項

- 入学試験に合格する程度の学力を持つ「高等学校卒業以上の年齢」を対象とした内容となっているため、高校生及び高校生に相当する年齢以下の方は受講できません。
- 開放授業の受講をもって単位の認定は行いません。
- 授業時間内での学習を原則とし、授業時間外の質疑等には応じかねる場合があります。
- 授業によっては、山口大学の講義支援システム（Moodle）、国立獣医学系大学連携教育システム（Glexa）や遠隔会議システム（GoogleMeet等）を使用することがあります。

※オンライン・オンデマンドでの受講又は講義支援システム等の利用時の受講生の要件

- | | |
|---|--|
| 1 | 自宅等にインターネット環境が整っていて（データ通信量無制限が望ましい。）、電子メールの送受信ができること |
| 2 | インターネットに接続して使用できるパソコンやタブレット端末（スマートフォンは推奨しない。）があること |
| 3 | パソコンの基本操作（文字入力、添付ファイルのダウンロード、インターネット検索等）ができること |

- 正規の授業科目のスケジュール上、このパンフレット作成時に開講曜日・時限が未確定の授業科目については、「未定」と記載しています。開講曜日・時限が決定次第、センターホームページ上にある各授業科目の「授業の詳しい内容」ページを更新します。
- 受講を辞退される場合は、必ずセンターまでご連絡ください。受講料お振込み後に自己都合により受講を辞退される場合、受講料の返還はできません。受講権利の譲渡、代理出席等お申込者ご本人以外の受講はお断りしています。
- 本学学生の履修登録がなく、授業自体が開講されなくなった場合は、開放授業を実施しません。この場合、受講料は返還します。
- 授業担当教員の都合等により、休講及び教室変更となる場合があります。授業担当教員から授業時間内に連絡ができなかった場合や気象状況の悪化により急遽休講となる場合は、センターから個別に連絡します。
- 試験実施に伴い、授業計画に変更が生じる可能性があります。
- 領収書が必要な場合は、申込時にお申し出ください。

講師 山下 大喜 (教育学部講師)

教育学部専門科目 (難易度 B)

【 内 容 】 ※全15回のうち講師指定2回のみ開放します

この授業では、「生徒指導概論」のうち、歴史社会学の観点から「いじめ」や「不登校」について考える授業（第11回及び第12回を予定）を開放します。実践事例やケーススタディをもとにして、問題への対処法の学習にとどまることなく、児童生徒の人間形成を支える生徒指導の方法について考えます。したがって、いじめ、不登校、学級崩壊といった教育問題をはじめ、日常的な学級経営や集団づくり、教師—生徒関係の構築、家庭や地域社会との連携といった内容について講義を進めていきます。基本的には講義形式で進めますが、事例検討やケーススタディに際してはグループ討議なども用い、歴史的な視点から教育課題を捉え、どのようにその課題が認識され、今日に至っているのかについて考えます。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員】 10名

【受講条件】 教育学に関心がある方

【受講料】 1,200円

【開講日時】 ~~未定~~ 水曜日 13時00分～14時30分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

開放する授業は、第11回 (6月24日) 及び第12回 (7月1日) です。

2026. 2. 25加筆

講師 角川 博哉 (共同獣医学部教授)

農学部専門科目 (難易度 B)

【 内 容 】

自然界には、植物・動物・菌の三つの生物群があり、有機的な相互関係によって生物社会が構成され、地球規模で壮大な物質循環を行う地球生態系というシステムを発達させました。

この授業では、様々な動物を取り上げ、独自の栄養吸収法と、それに伴う生理や生態などを学びます。反芻動物をはじめとする草食動物、野生動物も含む単胃動物を取り上げ、独自の栄養吸収法と、それにともなう生理生態など巧妙な生体の仕組みを習得します。

【開講場所】 吉田キャンパス (山口市)

【定員】 5名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、動物の生理や生態に興味がある方

【受講料】 9,000円

【開講日時】 火曜日 10時30分～12時00分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

03 教育方法学

前期前半

講師 山下 大喜（教育学部講師）

教育学部専門科目（難易度 B）

【 内 容 】

この授業では、次の3点を学習目標としています。

- (1) 日本と諸外国で蓄積された授業づくりの原理と方法論をもとに、現行の学習指導要領を特徴づける教育方法論のキーワードを理解する。【知識・理解】
- (2) テキスト演習をもとに創造的な授業づくりの構築に必要な原理と方法論を身につける。【思考・判断・表現】
- (3) (1) 及び (2) をもとに、教育実践にかかわる研究開発力を獲得し、創造的な授業づくりの在り方を発信することができることを目指す。【学びへの主体性】

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 10名

【受講条件】 教育実践に関心があり、授業づくりの原理について興味・関心がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 ~~未定~~ 金曜日 13時00分～14時30分

【連絡事項】

授業内の配布資料で参考図書を示します。

2026. 2. 25加筆

04 獣医臨床栄養学

前期前半

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

共同獣医学部専門科目（難易度 B）

【 内 容 】

まず、動物に必要な栄養素、動物が飼料を消化し栄養素を吸収する原理、主要な動物の消化器官の特徴等について学んだ後、吸収した栄養素を利用・代謝し、エネルギーを作り、健康な生存のために利用する原理について学びます。次のステップとして、人間が動物のために与えるべき栄養量の算出方法、健康に生きるためにバランス良く栄養を給与するための飼料設計法、栄養状態等に関わる血中成分等の情報を基にした、動物の健康状態の判定や栄養管理の改善等に結びつける方法である代謝プロファイルテストについて学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 3名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、動物の生理や生態に興味がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 火曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

国立獣医学系大学連携教育システム（Glexa）を使用します。

講師 永井 涼子（国際総合科学部准教授）

国際総合科学部専門科目（難易度 A）

【 内 容 】

この授業では、異文化コミュニケーションの基礎知識、日本人と外国人のコミュニケーション、外国語で行うコミュニケーション、日本語と外国語のコミュニケーションの違い、共文化内の異文化コミュニケーションなどについて学びます。

この授業を通して、異文化コミュニケーションの基礎を理解し、自分とは背景の異なる人々を尊重し、自分自身の考えやコミュニケーションを振り返ることができるようになることを目指します。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 特にないが、コミュニケーション概論（後期前半）を受講していることが望ましい

【受講料】 4,500円

【開講日時】 未定

【連絡事項】

宿題と演習に使用するため、教科書の購入が必要です。

『自発学習型異文化コミュニケーション入門ワークブック』中村良廣／著、石丸暁子／編（松柏社）

講師 山下 大喜（教育学部講師）

共通教育科目（難易度 A）

【 内 容 】

学校教育と教師の諸課題についての理解を深め、教育学に関する基礎的な見方・考え方を身につけます。学校給食、いじめ、不登校、管理教育について扱います。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 教育課題に関心がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 火曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『キャリアを支える教職入門 ワークで探るこれからの教師と学校』小川翔大・久野弘幸／編著（ナカニシヤ出版）

講師 角川 博哉（共同獣医学部教授）

共同獣医学部専門科目（難易度 B）

【 内 容 】

哺乳動物の一種として出現した人類は、地球上の様々な地域に移動して住処（すみか）を拡大し、大部分は定住生活を営むようになり、自己の生存及び種の保存という目的を達成するために、野生動物のうちの一部の動物の飼育を開始し、それら動物の持つ粗飼料等の消化利用能力、繁殖能力及び運動能力並びに肉、乳、卵、皮等の産物を利用するようになりました。そして、動物の能力を改変し、飼育管理の方法を改良・発展させ、産業としての効率を向上させ、その経営体を専門化・大規模化させ、産物の販売先を自分の住処の周辺から他国にまで拡大させました。以上の過程には、食の安定供給という正の側面と共に、新たに多くの問題を抱え込むという負の側面があります。

この授業では、世界と日本の動物生産の歴史、現状の国際比較、今後の動向、重要な動物種と品種、育種理論、遺伝資源と繁殖、産肉・産乳・産卵のための生体機構、飼育、施設、問題点、環境と資源循環等について学びます。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 3名

【受講条件】 高校卒業程度の化学と生物の知識があり、動物の生理や生態に興味がある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 火曜日 8時50分～10時20分

【連絡事項】

教科書の購入は不要です。

国立獣医学系大学連携教育システム（Glexa）を使用します。

講師 山本 冴里（国際総合科学部准教授）

国際総合科学部専門科目（難易度 A）

【 内 容 】

この授業では、世界中の様々な事例や具体的な自律学習の方法と考え方を提示しながら、第二言語の習得が個人や社会にとってどのような意味があるかということを中心に講義します。受講生が、言語の社会性について意識し、多様な言語を尊重する態度を育むとともに、外語を自律的に学ぶ力を身につけることを主たる目的としています。

【開講場所】 吉田キャンパス（山口市）

【定員】 5名

【受講条件】 自宅で日常的にインターネットを使える環境にある方

【受講料】 4,500円

【開講日時】 未定

【連絡事項】

教科書の購入が必要です。

『複数の言語で生きて死ぬ』山本冴里／編著（くろしお出版）

講義支援システム（Moodle）を使用します。



アクセスマップ

1. 山口市吉田キャンパス 〒753-8511 山口市吉田 1677-1



2. 宇部市小串キャンパス 〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1



山口市吉田キャンパス

J R

新山口駅から車で25分
湯田温泉駅から徒歩25分

バス

山口大学前バス停から
徒歩3分

小串キャンパス

J R

宇部新川駅から徒歩10分

バス

宇部中央バス停から
徒歩10分

2026（令和8）年度山口大学公開講座・開放授業前期受講申込書

申込開始日時 2026（令和8）年 2月 24日（火）9時 00分

申込開始日時より前に届いた申込書の受付は行いません

申込者情報		申込日	R8年 月 日
ふりがな		年 代	歳代
氏 名		性 別	男 ・ 女
住 所	〒 -		
電話番号	※平日に連絡が取りやすい番号をご記入ください		
メールアドレス	@		
備 考	※高校生以下の方は学年 ※山口大学学生は所属		

希望講座・授業科目情報

公開・開放の別	講座・授業番号	講座名・授業科目名	備考
公開 ・ 開放			
計			講座・授業

- ▶ 太枠内に必要事項をボールペンでご記入の上、FAX又は郵送で地域未来創生センターまでお申込みください。
- ▶ お申込みにより取得した個人情報は、個人情報保護の観点から厳重に管理し、次の目的以外には使用しません。
 - ①当該講座又は当該授業への登録及び受講に関する連絡・運営
 - ②今後の公開講座等の案内
 - ③統計情報の作成

山口大学地域未来創生センター

〒753-8511 山口市吉田 1677-1

TEL083-933-5059 FAX083-933-5029

[受付時間] 9:00～17:00（平日）

大学側記入欄

登録

受付



お申込み・お問合せ先

山口大学 地域未来創生センター

TEL 083-933-5059 FAX 083-933-5029

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/ext/>

〒753-8511 山口市吉田1677-1 山口大学事務局棟1号館2階 E-mail:chiiki@yamaguchi-u.ac.jp



▲オンライン申込は
地域未来創生センター
ホームページから